

新しい時代の学びの環境整備に向けた少人数学級等を実現するための 指定都市市長会緊急要望

今、全国の学校現場では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と子どもたちの学習保障の両立に向け、教職員、保護者、地域の皆様の協力により教育活動が進められている。

社会のあり方が劇的に変わる「Society 5.0」と言われる時代の到来や新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な社会において、答えのない問いにどう向かうのかが問われている。このような中、子どもたち一人一人が未来を切り拓いていける力を身に付けるために、いかなる事態にあっても、子どもたちの学びを止めない「学びの保障」に向けた体制の確保はもとより、子どもたち一人一人の状況に応じた、誰一人取り残すことのないきめ細かな学びを実現するとともに、学校における働き方改革の一層の推進も図る、新しい時代の学びの環境を実現することが急務である。

こうした中、文部科学省では、ポストコロナ期における新たな学びの実現に向けた令和3年度概算要求において、学級編制の標準の引下げをはじめ、「少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備」が事項要求されるとともに、令和2年10月7日の中央教育審議会初等中等教育分科会では、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中間まとめ）が取りまとめられ、少人数によるきめ細かな指導体制や小学校高学年からの教科担任制の在り方等の検討を進め、新時代の学びを支える指導体制や人材確保、必要な施設・設備の計画的な整備を図る必要性が示されたところである。

もとより、教職員定数の改善をはじめとする人的措置は、教育の機会均等という教育施策の根幹であり、各地方自治体の財政状況によって教育環境が左右されることがないよう、国の責務で措置されるべきであるとの認識の下、指定都市市長会においては、これまで少人数指導や小学校での教科担任制の充実及び加配教員の要件緩和等、教育環境の一層の充実に向け、更なる教職員定数の改善と学校における働き方改革推進のための人的措置の充実を要望してきているところである。

今後、ウィズコロナ時代を乗り越え、GIGAスクール構想の下で進められている一人一台PC端末の活用等による個別最適化した学びの実現や、学校における更なる働き方改革の推進に向け、少人数学級等によるきめ細かな指導体制を整備するために、下記のとおり要望する。

記

- 1 義務教育課程における普通学級での少人数学級の実現に向け、学級編制の標準を改正し、基礎定数の改善を図ること。
- 2 医療的ケアを必要とする子どもの増加など、障害等の実態が複雑かつ多様化している中、障害のある子どもたちへのきめ細かな支援のため、特別支援学校・特別支援学級の学級編制の標準を引き下げること。

- 3 少人数学級の実現にあたっては、各地方自治体が意欲ある優秀な教員の確保や教室等の施設整備について、各地域の実情に応じて、見通しを持って計画的に進めることができるための方策を早期に示すこと。
- 4 教員の勤務実態や急激な世代交代期を踏まえた、優秀な人材の確保が必要であり、教職調整額（４％）の見直しも含め、抜本的な処遇改善に必要な財政措置を令和３年度から講ずること。
- 5 教室数の確保等に伴う施設整備に対する補助制度について、基準の緩和や対象の拡大などの制度拡充を行うとともに必要な財政措置を行うこと。
- 6 学校や地域の実情に応じて、教育課題の解決や指導充実に向けて配置されている加配定数についても、学級編制の標準の改正と一体として更なる改善を図ること。
- 7 子ども一人一人の状況に応じたきめ細かな対応とコロナ禍の下での学校における働き方改革の一層の推進のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの養成や常勤化に向けた定数措置、スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員、日本語指導の支援員、医療的ケアを必要とする子どもを支援する看護師等、多様な専門職を各地方自治体の負担なく確保できるよう財政措置を行うこと。

令和２年１１月１３日
指定都市市長会